



6月5日から23日まで、第3回高梁市議会が開催されました。新型コロナウイルス感染症予防のため、議場に入る人数を最小限にしたり、一般質問の時間を30分に短縮するなどの対策がとられました。

また、今回は議会ICT化推進の一環として、希望した6名の議員には、議案などの書類が全てデータで送付され、議場にパソコンやタブレットを持ち込んでペーパーレスでの審議を行いました。

報告5件、議案21件はすべて承認・可決され、請願1件は趣旨採択されました。

新型コロナ 対策・支援策をさらに充実!

主な新型コロナウイルス感染症対策と支援策

6月議会でも、新型コロナウイルス感染症に対する議案が提出されました。高梁市独自の事業も含めた全事業が全会一致で議決されました。

主な事業

- 1 高梁市出産特別応援金給付事業（特別定額給付金の対象外の新生児にも給付金を支給する事業）
- 2 就学前児童、小学生への子ども用マスクの無償配布
- 3 中小企業等事業継続支援金事業（新型コロナウイルスの影響で前年同月比20%以上売り上げが減少した中小企業等に対して支援金を支給）
- 4 高梁市事業者応援事業（全市民に市内店舗等で利用できる5000円分の地域商品券の配布）
- 5 避難所での感染症対策
- 6 感染症対応病床設置への支援
- 7 専門家派遣補助金（感染症の影響を受けている事業者に対して専門家を派遣する事業）

小中学校での1人1台タブレット端末整備

国のGIGAスクール構想では、当初、「令和5年度までの児童生徒1人1台端末の整備」とされていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、全国的に休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態が発生したため、前倒しされました。国の令和2年度補正予算には、「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード、ソフト、人材を一体とした整備の予算が計上されました。これを受けて高梁市では、小中学校で合計1516台のiPadと付属品、ソフトウェアを購入することに關する議案が提案されました。

市道玉川落合線の災害復旧工事について

議案第70号は、平成30年7月豪雨災害で甚大な被害を受け、現在も終日片側交互通行の規制が続けられている市道玉川落合線の工事請負契約についての議案です。

議案審査においては、なぜこの工事の契約がここまで遅れているのか、どうして今回の工法を選択したのかという部分が論点になりました。

審査過程では、iPadの選定理由や納期、活用方法などについて質問がありました。

納期は令和3年2月27日、選定に際しては、ウインドウズマシンやクロムブックと比較して、特に

その理由について、国の災害査定時にこの工法が指定されたこと、施工実績のある企業や市内業

者にも声をかけたが入札者がなく、随意契約になったという説明がありました。

この市道は朝夕の交通量が非常に多い路線であり、本格的な工事が始まれば杭の製作に3ヶ月はかかるということなので、地元や利用者に対して交通規制などを丁寧に説明するよう意見が出されました。

労働会館と働く婦人の家の廃止について

労働会館条例と働く婦人の家条例を廃止する議案は、両施設の利用者が減少したことを理由に廃止するとの説明がありました。両施設の現状について執行部からは、労働会館の利用者数は、平成5年度の1万2000人から平成30年度には1600人に減っている。働く婦人家の利用者数も同様に減少している。行財政改革により具体的な施設の見直しを検討した結果、廃止となったと答弁がありました。

議案に反対する議員からは、利用者が増えたから廃止するのはお

5月臨時議会

特別定額給付金等に関する一般会計補正予算案を可決

5月1日に高梁市議会臨時議会が開催され、約31億円の補正予算について審議、可決されました。

4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大、4月末ま

では国内感染者数が1万5000人に届こうとしていました。4月30日に国の令和2年度補正予算が可決したのを受けて、高梁市でも①特別定額給付金事業（一人一律10万円）、②子育て世帯臨時特別給付金事業、③マスク購入券を配布して購入

費の一部を助成する事業、④感染症予防対策や防疫作業などに必要な資材を購入して医療機関や妊婦に配布する事業などの補正予算が提案されました。

審査の中でさまざまな議論がなされましたが、特別定額給付金については、長期入院患者やDV被害者にも届けることができるかという点について、個々の状況に応じて不利益にならないよう対応していくとの答弁がありました。

かしい。地域住民は集会所として利用しており残すべきだとの意見がありました。

産業経済委員会の審査では、条例廃止後の管理や今後の活用についての質問があり、執行部からは、

今後は普通財産となり若干の改修を行う。議決後に森林組合や農業共済組合、やすらぎ教室などの入居に向けた調整を行っていくという答弁がありました。



労働会館・働く婦人の家



市道玉川落合線復旧工事

